

幸せ

中本祐子

大きなショベルが二本

草をひっかくダチカケやカマも

薪を割るヨキヤ

炭をいれる火消しの壺まで

丁寧に洗い上げられて

庭先に並べられた

手前には子供たちと三色すみれを植えた

プラスチックの赤や青のスコップ

マンションに引越すことになって

行き場を失った庭道具は

ほしい人がいなければ

明日全部捨てる

洗い上げられた道具の

一つ一つに沁みついた

三十年の思い出は

甘いものばかりでもなく

楽しいものばかりでもなかったが

穏やかな五月の日差しの中

少し錆びついたスコップの先が

ツンと空を向いて

静かに横たわっている